

平成 27 年度 第 2 回「伊勢志摩定住自立圏共生学」運営会議議事録

【日 時】平成 27 年 6 月 18 日（木）18 時～19 時 30 分

【場 所】皇學館大学 9 号館 5 階 大会議室

【出席者】（伊勢市）辻企画調整課長（鳥羽市）濱口企画財政課副参事（志摩市）下村企画政策課長（度会町）政策調整室加藤氏（南伊勢町）西村行政経営課長（明和町）防災企画課 霜 氏（三重銀総研）別府 孝文副調査部長（大学）齋藤教授、櫻井教授、笠原教授、筒井教授、板井准教授、近藤准教授、池山助教、木村企画部長、橋本企画部地域連携推進室課長、梅川地域連携推進室員

【議 題】

1. 平成 27 年度『伊勢志摩定住自立圏共生学』教育プログラム開講状況（履修者/反応/評価/課題）、秋学期開講科目の準備状況について

（1）開講状況、反応

板井准教授より大紀町授業（6/17）録画ビデオの紹介、南伊勢町授業（6/10）内容 Facebook ページ紹介、開講状況等についての報告、説明がなされた。

- ・大紀町行政職員とのクロストークを実施。一方通行の授業とならないよう工夫することが大事だと感じている。授業時に学生が記入したリアクションペーパーについては PDF にして、大紀町と共有。

池山助教よりミニッツペーパーについての説明がなされた。

- ・講義の感想、学んだこと、質問事項を学生が記載。画像ファイルとして処理後、学生自身が manaba folio（朝日ネット）へアップロードする仕組み。
- ・学生の疑問や学びの方向に双方向性を持たせたいと考えている。

（2）評価

板井准教授より配布資料に基づき評価基準、観点等について説明がなされた。

- ・シラバス内に記載された評価配分はレポート 80 点、その他 20 点。
- ・施策提案型レポート（A4 1 枚程度）での評価を検討中。

（市町委員によるレポート評価について）

- ① 受講学生全員分（96 人）のレポートをご覧いただき、コメントを付していただく。
←全員分のレポートに対してコメントを付していただく必要はない。
- ② 点数評価は教員が行い、評価後のレポートを PDF ファイル（暗号化）で市町委員宛メール送信。
←個人成績付記済みであるので、管理の徹底をお願い致したい。
- ③ 市町への PDF ファイル送付はお盆前もしくは 8/17（月）以降を予定。
←タイムスケジュールについては改めて連絡

(Q) PDFファイルへのコメント記入方法は？

(A) 学生番号、氏名、点数、コメント欄の入ったエクセルファイルを併せてお送りするので、そのファイルに一括してご入力、ご返信をいただきたい（暗号化をお願い致します。）

(3) 課題

板井准教授より、今年度の共生学Ⅰにおいては授業最終回にも市町様にご担当いただくようになっており、まとめを前倒しにして行うというデザインとなってしまった。次年度以降は講義全体の教育効果を考慮した構成をご提案した上で、調整・ご相談させていただきたいと考えている。との発言があった。

※今年度分の授業については、秋学期以降も含めてすべて予定通り。

審議の結果、異議なく了承された。

(4) 秋学期開講科目の準備状況

齋藤教授より科目Ⅱについて、三重銀総研 別府副調査部長科目Ⅲ、Ⅳについて報告がなされた。

- 科目Ⅱは、科目Ⅰでの担当教員が引き続き、担当させていただく。
- 科目Ⅲ、Ⅳは準備段階。実例を含め具体的なお話ができればと考えている。テキストとして使用予定である三菱総研作成教材（平成22年、23年）において一部データが古い部分については適宜対応する。

審議の結果、異議なく了承された。

(5) 社会人履修生

齋藤教授より社会人履修生について報告がなされた。

- 応募は社会人履修生として3名（伊勢市職員1名、志摩市役所2名）、スポット履修生として7名。
- 社会人履修生については、昨日（6/17）の教授会で履修が認められた。

木村部長より、社会人履修生については科目履修生として必要な書類を今後発送するとの連絡がなされた。（伊勢市職員へは所属課、本人名宛で。志摩市職員2名は企画政策課長宛で送付）

審議の結果、異議なく了承された。

2. 『伊勢志摩定住自立圏共生学』Web ページ(学修プラットフォーム)の運用状況について

齋藤教授よりCOCホームページ内、学修プラットフォームについて紹介、説明がなされた。

- シラバス情報、活動報告書、担当講師陣紹介などのコンテンツを用意しており、学びの情報を集約したページとしている。

学修プラットフォーム URL <http://coc.kogakkan-u.ac.jp/educate2.html>

また、木村部長より圏域情報ページについて補足説明がなされた。

圏域情報 URL <http://coc.kogakkan-u.ac.jp/sphere/>

審議の結果、異議なく了承された。

3. 取組内容公表第1回シンポジウム(9月)の内容・実施準備について

齋藤教授より事項書、配布資料に基づき概要説明がなされ、その後板井准教授よりシンポジウム登壇者、ブース出展等について説明および依頼事項がなされた。

- ・日程：9月4日（金） 午後1時30～午後5時
- ・テーマ「伊勢志摩で共に暮らし続けることのミライを考えあうシンポジウム」。今年度を Vol.1 として、以降同じテーマで開催。
- ・シンポジウム登壇者の方のメールアドレスによりメーリングリストを作成、それにより連絡調整を行う。8月中に登壇者打合せ実施。（1回のみ）
- ・ブース出展募集については、後日連絡。

（依頼事項）

シンポジウム登壇者として各市町から若手職員1名の派遣をお願い致したい。シンポジウムの趣旨から、20代後半～30代前半の方を想定している。（所属部署は問わない）

- ① 確認メールをお送りするので、職員派遣の可否についてご回答をお願い致したい。
- ② 次回運営会議（7/16）で、派遣いただける職員の方のお名前をご連絡いただきたい。

（Q）ブース出展のスペースは？

（A）パネルー畳分の大きさで、その前に机を1つ設置と考えている。

審議の結果、異議なく了解された。

4. 伊勢志摩定住自立圏に関する基礎的研究の実施について

齋藤教授および板井准教授より配布資料に基づきアンケート内容について説明がなされ、併せて宛名ラベル作成協力依頼方法について審議がなされた。

- ・今年度は500サンプル／1市町、圏域全体で計4000サンプル実施。次年度以降、2000サンプルで計画。
- ・調査データの取り扱いについて（別紙2参照）
大学と印刷調査会社（プライバシーマーク保有）で調査契約⇒大学から市町へ調査協力依頼⇒市町からサンプル宛名ラベルの状態印刷調査会社に提供⇒印刷調査会社からアンケート用紙発送⇒大学で調査結果分析⇒分析結果を市町へ提供

審議の結果、宛名ラベル作成協力依頼については「依頼文」で行うこととなった。また、依頼文の中にランダムサンプリングをお願いしたい旨を表記致することとなった。

(今後のスケジュール)

7月初旬：依頼文を市町へ送付

8月末～9月初旬：市町より宛名ラベル提供

9月中：アンケート完了

(Q) 人口比に関係なく、500 サンプル/市町か？

(A) 人口比例配分とするとアンケート結果の精度にばらつきが生じるため、一律に1市町あたり500 サンプルで行いたい。

5. 平成 27 年度 現地学修実施計画(案)について

鳥羽市現地学修について板井准教授より、玉城町現地学修について池山助教より説明および報告がなされた。

(鳥羽市現地学修)

8～9 月にかけて実施を予定(日帰り)。離島での社会資源、地域資源を体験。

(玉城町現地学修)

8/11(火)実施。ICT 活用、オンデマンドバスの利用について。

講義での話題提供を踏まえ、学生にできるだけ現地の状況を見せたいということもあり、CLL 活動とあわせて現地学修という形でも今後ご協力をお願い致したい。

審議の結果、異議なく了解された。

6. 学修成果測定アンケート(案)について

齋藤教授および木村部長より配布資料に基づき説明がなされた。

- ・この学修成果測定アンケートは自己点検・評価委員会および外部評価委員会での評価項目として定められているもので、教育プログラムの学修成果が自覚的に身についたかをアンケートで集計するもの。
- ・大学の授業評価アンケートとあわせて、授業最終回に実施を予定。
- ・アンケート(案)質問項目等についてお気づきの点があればお知らせいただきたい。

審議の結果、異議なく了解された。

7. その他

特記事項なし

【報告事項】

(1) 地(知)の拠点整備事業におけるフォローアップアンケート結果について (配布資料参照)

(2) 中部経済新聞コラム掲載について

- ・COC 担当教員4人持ち回りで掲載。経済的な観点を入れながら、それぞれの専門分野を生かして執筆予定。また、中日新聞伊勢志摩版「ふるさと再発見」に齋藤教授が執筆することも報告された。

(3) 平成27年度 学部生在籍者数一覧 (配布資料参照)

審議の結果、異議なく了解された。

*次回日程

次回(H27年度 第3回)運営会議は、

平成27年7月16日(木)18時～ 皇學館大学 9号館5F(951)にて開催されることが確認された。

以上